

蘇尼特系蒙古語方音初探：母音

吉池孝一・ハス

1. はじめに

ハス(ハス)さんは内蒙古自治区・蘇尼特(スニト)右旗出身の話者である<sup>1</sup>。蘇尼特方言の調査報告としては、孫 竹 1990<sup>2</sup>および烏力吉布仁 2001<sup>3</sup>がある。他に朝格巴雅爾 1989があるが未見。過日、ハスさんの発音を聞いたところ両報告書とは異なる部分もあるようなので「蘇尼特系」として初歩的な音系の記述を共同で試みた。栗林均 1989によると、この方言はハルハ方言に属すようであるが、ハスさんの言葉がどの程度チャハル方言の影響を受けているか興味深い。なお、音系の記述にあたって先ず語彙を採取するわけであるが、ハスさん自身が家庭を中心とした生活圏の中で実際に使用したことのある所謂「使用言語」を極力採取した。もっとも先行調査資料との対比のため「理解言語」も一部含んでいる。

発音は「簡略な」音声表記により、a, ε, o のように裸で記すことにする。この簡略表記には音韻的な処理を施した部分もあるが体系を十分に考慮した上のものではない。このような表記であっても、当該方言の概略を知るといふ点に目標を限定するならば有用であろう。なお、簡略表記の説明のため、「やや精密な」音声表記を用いるが、そのような場合 [a][ε][o]等以示すことにする。これもやや精密な音声表記に関わることであるが、第2音節以降の中舌化した短母音は、普通には [ä] のように記されるのであるが、本稿では第1音節の母音の表記に使用した音声

---

<sup>1</sup> 父母ともにスニト出身。1977年生まれ。女性。1992年までスニトの小・中学校にて学ぶ。1992年から2004年までフホトとスニトの両地にて生活。この間1995年から1999年までフホトの大学に学ぶ。2004年日本の大学に留学。なお小学校3年より正式に漢語を学ぶ。

<sup>2</sup> 孫 竹 1990には「東蘇尼特」として東スニトの語彙調査資料が一覧表としてある。ハスさんの居住地は西スニトである。西は東に比べて交通の便が良いというから、総体として西スニトの方が標準的な内蒙古方言(チャハル方言)の影響を多く被っている可能性はある。

<sup>3</sup> 烏力吉布仁 2001, 21-26頁。なお、なぜか論文中の調査語彙の多くは文語的なものとなっている。

記号を用い[a]のようにする。また、語末子音の後に付属的な母音が聞こえるときと聞こえないときがある。この付属的な母音は[d<sup>a</sup>]のように記すことにする。

なおこれ以後、蒙古文語形は全て Lessing (1995) に拠り、そのローマ字転写は( )で括りそれと明示する。

## 2. 母音

### 2-1. 短母音

第1音節の短母音の簡略表記とやや精密な音声表記は以下の通りである。

	1	2	3	4	5	6
陽性母音	a	ε	ɔ	œ	ʊ	ɪ
	7		8		9	10
陰性母音	ɜ		ə		ɯ	i

#### 陽性母音

1. a : [a] [am<sup>a</sup>]口 [ɖaɕsar]すきま [maɣ<sup>a</sup>]肉
2. ε : [ε] [εm<sup>ε</sup>]生命 [nεrɪ:ŋ]狭い [xen<sup>ε</sup>]友人  
: [e] [ʧedax<sup>a</sup>]できる [ɕed<sup>a</sup>]槍
3. ɔ : [ɔ] [ɔd<sup>ɔ</sup>]星 [nɔm] ~ [nɔm<sup>ɔ</sup>]本
4. œ : [œ] [œn<sup>œ</sup>]樽木 [xœn<sup>œ</sup>]羊
5. ʊ : [ʊ] [ʊs<sup>a</sup>]水 [ɖʊs<sup>a</sup>]血
6. ɪ : [ɪ] [ɪla:]はえ [ɪma:]山羊 [ɕɪr<sup>a</sup>]尾根  
[ɪlaɣ<sup>a</sup>]克服する

#### 陰性母音

7. ɜ : [ɜ] [ɜm<sup>ɜ</sup>]雌 [xɜl<sup>ɜ</sup>]舌・言葉 [nɜr<sup>ɜ</sup>]名前
  8. ə : [ə] [ər<sup>ə</sup>]負債 [əd<sup>ə</sup>]羽 [tər<sup>ə</sup>]国家
  9. ɯ : [ɯ] [ɯr<sup>ɜ</sup>]種子 [ɯd<sup>ɜ</sup>]正午 [tɯr]臨時の
  10. i : [i] [im<sup>ɔ</sup>]目印(家畜の耳に付ける) [ɕix<sup>ɔ</sup>]耳 [ɕir]汚れ
- 陰性母音 ɯ は陽性母音 œ に比べて唇の突き出し丸めが著しい。

### 2-2. 長母音

長母音の簡略表記とやや精密な音声表記は以下の通りである。

陽性母音	1	2	3	4	5	6
	a:	ɛ:	ɔ:	œ:	ɔ:	i:
陰性母音	7		8		9	10
	ɜ:		ə:		ʌ:	i:

陽性母音

1. a: : [a:] [a:β<sup>a</sup>]お父さん [χa:]どこ [ota:]煙
2. ɛ: : [ɛ:] [ɛ:l]アイル [xɛ:tʃ<sup>e</sup>]はさみ [mɛ:lax<sup>a</sup>]羊が鳴く  
: [e:] [ʃeɾ<sup>a</sup>]動物の足 [tʃeɾag<sup>a</sup>]強い
3. ɔ: : [ɔ:] [χɔdɔ:d<sup>ɔ</sup>]胃 [tɔ:]数 [ɔ:sɔɾ]ひも
4. œ: : [œ:] [œ:mɔs<sup>o</sup>]靴下 [œ:]森 [nœ:ɾœŋ]濡れている
5. ɔ: : [ɔ:] [ɔ:l<sup>a</sup>]山 [ɔrɔ:l<sup>a</sup>]唇 [mɔ:]悪い
6. i: : [i:] [nɛɾi:ŋ]狭い [ɔlɔŋkɪ:]多数の [xɛlɪ:x]横目で睨む

陰性母音

7. ɜ: : [ɜ:] [ɜ:ɕ<sup>ɜ</sup>]お婆さん [xɜ:l<sup>ɜ</sup>]家畜の胎児 [tɜmɜ:]らくだ
8. ə: : [ə:] [ə:d<sup>ə</sup>]上り坂 [xə:s<sup>ə</sup>]泡 [tə:]指尺 (親指と中指)
9. ʌ: : [ʌ:] [ʌ:d<sup>ɔ</sup>]扉 [dʌlxʌ:ɾ]鍵 [dʌ:]弟・妹
10. i: : [i:] [i:m<sup>ɔ</sup>]このような [bi:]私 [ti:m<sup>ɔ</sup>]そのような  
[ɕi:mɜɾ]運

2-3. 二重母音

二重母音の簡略表記とやや精密な音声表記は以下の通りである。以下の語彙は道布 1983 を参照した。長母音を全て[:]としたが、それほど長くないものもある。

1. ɰi : [ɰi] [ɰimɜx<sup>ɜ</sup>]騒ぐ [xɰis<sup>ɔ</sup>]へそ  
ɰi: : [ɰi:] [ɰi:l<sup>ɔ</sup>]苦難 [tɰimɜɾ]火事 [gɰi:tʃix<sup>ɔ</sup>]追いつく
2. ɰɛ : [ɰɛ] [ɰgɰɛ]~[ɰgɰɛ:]ない  
[gɛ:ɕɰɛ]ドライバー (<漢語「改錐」)  
ɰɛ: : [ɰɛ] [gɰtʃgɰ]~[gɰtʃgɰ:]力がない  
[tʃimɜ:gɰɛ]~[tʃimɜ:gɰ]静かな
3. ɰɜ : [ɰɜ] [piŋɰɜ]リンゴ (<漢語「苹果」)  
ɰɜ: : [ɰɜ:] [lɰɜ:s]ロバ (<漢語「騾子」)
4. ɰɛ : [ɰɛ] [gɰɛ]~さん [kɰɛɕi:]会計 (<漢語)  
[dogɰɛlaŋ]グループ

- ue: : [ue:] [ue:lax<sup>a</sup>]泣く [sue:r<sup>e</sup>]基礎 [χaraŋue:]暗黒
5. oa : [oa] [ja:foas]歯ブラシ (〈漢語「牙刷」) )  
 oa: : [oa:] [χoa:]盛り土 [goa:laχ<sup>a</sup>]かびる
6. io : [io] [jupio]切手 (〈漢語「郵票」) ) [jos]道理  
 io: : [io:] [su:lior]プラスチック (〈漢語「塑料」) )  
 [jo:loχ<sup>o</sup>]うめく

### 3. 母音の特徴

チャハル方言では emj(生命)や xænj(羊)のように口蓋化子音がありその影響で ε や œ という陽性短母音があらわれるが<sup>4</sup>、ハスさんの発音では [em<sup>e</sup>] (生命)や [xæn<sup>e</sup>] (羊)であり、口蓋化子音はない。[ε]や[œ]は音韻的にみても独立した母音である。一方、蒙古文語の(ayi)(oyi)に対応する母音は二重母音ではなく ε:( [ε:l]アイル [xe:tʃ<sup>e</sup>]はさみ [me:lax<sup>a</sup>]羊が鳴く)や œ:( [œ:mœs<sup>e</sup>]靴下 [œ:]森 [nœ:tœŋ]濡れている)のように長母音となる。孫 竹 1990 および烏力吉布仁 2001 の記述によると、これらは蘇尼特方言で降り二重母音で現れるようであるから、この点ハスさんの発音はチャハル方言的である。

なお子音については別の機会に記述するつもりであるが、上に挙げた資料によっても、蒙古文語の j に dz ([ɖaʃsar]すきま) と ʧ ([ʧed<sup>a</sup>]槍) が対応するところはハルハ方言的であることがわかる。もっとも、蒙古文語 ɣ が後続の無声子音により有声化するのは ([ɖus<sup>a</sup>]血 [ʧix<sup>o</sup>]耳) チャハル方言的といえよう。

#### 〈参考文献〉

- 道 布 1983. 『蒙古語簡誌』北京：民族出版社。
- 孫 竹 1990. 『蒙古語族語言詞典』青海：青海人民出版社。
- 烏力吉布仁 2001. 「關於蒙古語蘇尼特口語語音系統」, 『内蒙古師大學報(哲学社会科学版)』第30卷第2期, 21-26頁。
- 栗林 均 1989. 「内蒙古語」, 『言語学大辞典 第2巻 世界言語編(中)』東京：三省堂, 1426-1434頁。

<sup>4</sup> 道 布 1983 による。